

科目	国語 I b (Japanese Language and Literature I b)		
担当教員	土居 文人 教授		
対象学年等	システム情報工学科・1年・後期・必修・1単位【講義】(履修単位)		
学習・教育目標	教育目標2		
授業の概要と方針	一般教養としての国語の基礎的学習をおこなう。現代文は、論理的文章(評論)と文学作品(詩・俳句)の読解法と鑑賞法を学習し、思考力・判断力・共感力・表現力を養う。また、コミュニケーションに関する知識・能力と漢字などの語彙的知識を身につける。古文は、日本の古典文学と漢文の学習をおこなう。古典文学作品の読解と現代語訳作成、漢文の読解を通じて日本の伝統文化についての理解を深める。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	評論・詩(短歌・俳句を含む)の基本的読解方法・鑑賞方法を習得し、その方法によって評論・小説を読解・鑑賞できる。		評論・詩(短歌・俳句を含む)を的確に読解・鑑賞できているか、中間試験と定期試験で評価する。
2	文意の明快な文章を書くための知識と方法を習得し、文意の明快な文章を書ける。		明快な文章を書くための知識と方法が身についているか、中間試験と定期試験で評価する。
3	古典日本語に関する知識を習得し、日本の古典文学作品を現代語訳できるようにする。		古典日本語に関する知識が身についているか、日本の古典文学作品を現代語訳できるか、中間試験と定期試験で評価する。
4	漢文に関する知識を習得し、漢文を現代日本語訳できるようにする。		漢文に関する知識が身についているか、漢文を現代日本語訳できるか、中間試験と定期試験で評価する。
5	漢検3級程度の漢字表現を使いこなせるようになる。		漢検3級程度の漢字表現の読み書き能力について、中間試験と定期試験で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験100% として評価する。中間試験と定期試験の平均点を試験成績とする。100点満点で60点以上を合格点とする。		
テキスト	「現代の国語 改訂版」(筑摩書房) 「言語文化 改訂版」(筑摩書房) 「漢検3級 漢字学習ステップ 改訂四版」(漢字能力検定協会)		
参考書	なし		
関連科目	国語Ia, 国語IIa, 国語IIb.		
履修上の注意事項	なし。		

授業計画(国語Ⅰb)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	11世紀の日本語で表現された文学作品を学ぶ/漢字の練習	教科書「言語文化」を使用して,11世紀中頃の平安時代に書かれた日記の「更級日記」を読み,当時の日本語の文章と感性について学ぶ。漢検3級の漢字テキストを使用して漢字の練習をおこなう(漢字し,原則として毎週実施)。
2	11世紀の日本語で表現された文学作品を学ぶ	教科書「言語文化」を使用して,11世紀中頃の平安時代に書かれた日記の「更級日記」を読み,当時の日本語の文章と感性について学ぶ。漢検3級の漢字テキストを使用して漢字の練習をおこなう(漢字し,原則として毎週実施)。
3	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して,教科書の評論を読解する。
4	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して,教科書の評論を読解する。
5	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して,教科書の評論を読解する。
6	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して,教科書の評論を読解する。
7	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して,教科書の評論を読解する。
8	中間試験	前期中間試験を実施する。
9	漢文を学ぶ	教科書「言語文化」を使用して,古代の日本語・日本文化に影響を与えた漢文について学ぶ。
10	漢文を学ぶ	教科書「言語文化」を使用して,古代の日本語・日本文化に影響を与えた漢文について学ぶ。
11	詩の解釈と鑑賞	教科書「言語文化」を使用して,詩の解釈と鑑賞をおこなう。
12	詩の解釈と鑑賞	教科書「言語文化」を使用して,詩の解釈と鑑賞をおこなう。
13	俳句とは何か。俳句の解釈と鑑賞	プリント教材を配布して,世界で創作されている俳句という文芸ジャンルの本質について学ぶ。教科書「言語文化」を使用して,俳句の解釈と鑑賞をおこなう。
14	俳句の解釈と鑑賞	教科書「言語文化」を使用して,俳句の解釈と鑑賞をおこなう。
15	俳句の解釈と鑑賞	教科書「言語文化」を使用して,俳句の解釈と鑑賞をおこなう。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	後期中間試験および後期定期試験を実施する。	